

このニュースは東京都レンジャーの活動や、自然の情報などを皆様へお伝えするものです。

冬山の楽しみいろいろ！！

東京にも冬がやってきました。今月号では冬ならではの山の楽しみ方と注意点をご紹介します。

まずは東京都レンジャーがおすすめする冬山の楽しみ方です。

次ページでは冬山を楽しむ際の注意点をお伝えします。冬山に登山する際は東京都レンジャーも注意しています。

ご褒美富士山を見に行こう！



大岳山山頂と富士山



大岳山山頂からの富士山

冬は空気が澄み遠くまで見渡せるので、眺望の良い山に行くのには、最も適した季節です。御岳地区にも眺望の良い場所がいくつかありますが、一番のおすすめは大岳山からの富士山です！御岳山から急峻な岩場を登り上げると、突然視界に入ってくる富士山。山頂まで頑張ったご褒美的光景です。大岳山までの道は歩道の幅が狭く、岩場もありますので、冬場に凍結したり積雪があると、注意が必要になります。軽アイゼンを持参し、時間に余裕のある計画を立てて、ご褒美富士山を見に行ってみてください！

雪景色を楽しみに雲取山へ



石尾根から雲取山避難小屋



雲取山山頂から東京湾

冬山の楽しみの一つ雪景色。今年の冬は標高二千メートルを超える雲取山周辺で雪景色を楽しんではいかがでしょうか。

平成31年のように2月でも積雪がないこともありますのでビジターセンターに問い合わせるなど情報収集をしっかりとってから行かれることをおすすめします。

冬の雲取山への登山は最低でも一泊二日の行程が必要です。積雪の状況によって難易度が極端に高くなることがあります。情報収集を徹底するとともに経験者と一緒に登ってください。

ムササビ観察のチャンス



樹木に登ったムササビ



滑空しているムササビ

高尾山には巨木がたくさんあり、巨木の洞を巣に使っているムササビがたくさん生息しています！

一年中観察できるムササビですが、冬は繁殖時期で巣から出やすく、落葉しているため観察しやすい時期になります。

観察のチャンスは日没後の30分～1時間くらいです。ムササビが見れたらラッキーです♪

注意点としては、明るいライトで直接ムササビを照らしたり、近くで騒いだりすると刺激してしまうので、ライトは動物観察用の赤いライトを使い、観察をする際は静かにそつとで、お願いしますね。

凍った滝を見に行こう！

秩父多摩甲斐国立公園は、これから本格的な冬を迎えます。

東京の自然公園の冬の楽しみの一つとして「氷瀑」、凍った滝を見ることが出来ます。

寒い日が連続して続いた時がおすすめです。

平成30年1月末には檜原村の払沢の滝が12年ぶりの完全結氷となりました。今年の冬はどうでしょうか？



氷結した払沢の滝

注：滝を見に行く際は、危険度の高い場所や冬山登山の装備が必要となる場所があります。

事前の情報収集をしっかりと行いましょう。